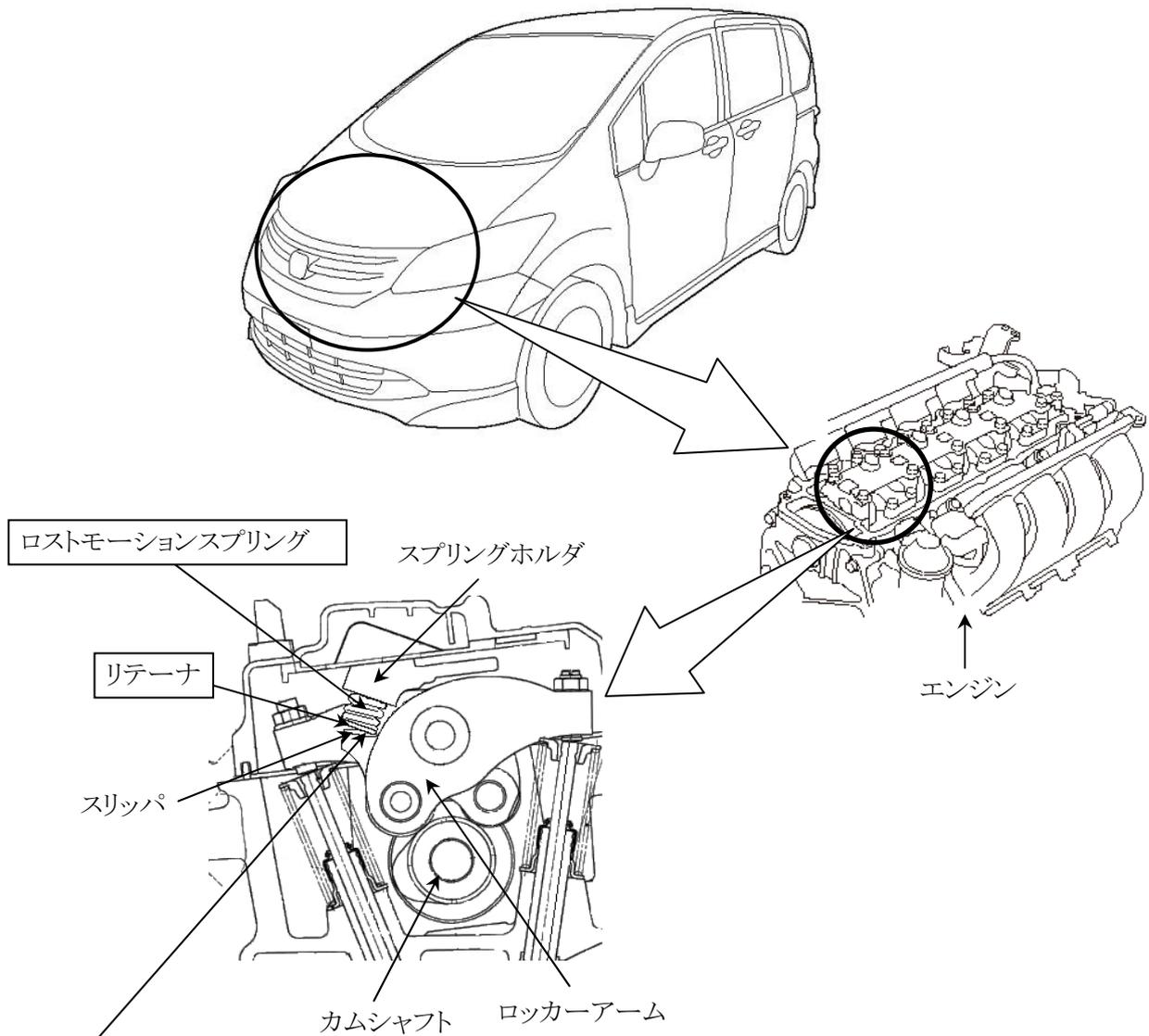


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

可変バルブタイミング機構に用いているロストモーションスプリングのリテーナとロッカーアームのスリッパ部との面圧設定が不適切なため、エンジン始動直後のアイドリング時に潤滑が十分に行われずリテーナの変位抵抗が高くなることがある。そのため、当該スプリングが横方向に動き、スプリングホルダと干渉を繰り返して疲労限度を超えると折損して異音が発生し、最悪の場合、折損したスプリングがカムシャフトに噛み込み、エンジンが停止して再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ロストモーションスプリングとリテーナを対策品に交換する。

注: は交換部品を示す。

識別: 右前席ドア上ヒンジの上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。